

だまっちゃおられん！

福島原発事故とこれからの日本を考える学習会 大講義室を埋める学生150人

7月27日、だまっちゃおられん弘大ランチは、弘前大学理工学部8番講義室で、学生向けの原発問題学習会を実施しました。理工学研究科准教授の鈴木裕史氏が、「FUKUSHIMA 事故の経過と今後の予想」と題して講演しました。会場は、120人定員の大教室でしたが、学生があふれ、隣の教室から椅子を運んでも満席の状態。「5つの防御というが、ペレットの被覆管を防御にカウントしていいのか?」「福島に実家があり家族が心配だが、避難しなくてもよいのか?」「子どもほど放射線に対する感受性が強いというが、胎児はどうなるのか?」など、質問も活発でした。鈴木先生だけでなく、フロアに集まったランチのメンバーである教授数人や、長年県内各地の保健所長を務めた医師の方などが回答に立ち、盛り上がりを見せた学習会となりました。

これを契機に、原発問題・地域問題を考える学生サークルの結成に結びつけようと、参加した学生に学習会終了後の懇親会に残って欲しいと呼びかけましたが、残ったのは講師の研究室に所属する学生4人に止まり、サークル結成には至りませんでした。

弘大ランチでは、今年も教員有志による21世紀教育「環境と共生」講義（後期2単位）の開講に協力し、原発問題・環境問題の学生への浸透に努力する構えです。



北日本新エネルギー研究所見学会を実施



8月4日、宮永代表以下8名で、青森市内に立地する弘前大学北日本新エネルギー研究所見学会を行ないました。

入り口にN先生が開発し、西郡で一部実用化されているという地吹雪発電の路肩灯の実物があり、うちわであおぐと羽が廻ってランプが点くしくみとなっており、猛暑日ながら、皆さん次々にうちわを取ってあおいで電気をつけてみました。最初に、研究所の任務と行なっている研究内容等について、研究員から概要の説明を受けました。研究所で行なっている研究は、主にバイオマス関連と地熱利用に大別されてい

るようです。説明者がバイオの担当であったためか、バイオエンジン搭載の寒冷地仕様の車の研究開発について、詳しい説明がなされておりました。地熱については、融雪設備等に実用化されていることなどが話され、身近なエネルギーで等身大の生活を賄おうという研究の方向性には好感を持ちました。

壮大な構想であるサハラソーラーブリーダー計画（サハラ砂漠の砂からシリコンを抽出し、サハラに太陽電池を並べて全世界に半導体で送電しようという計画）については、皆さんの質問が集中しました。説明を聞いた後、機械を見せてもらいました。機械は、ほとんどが設計図を渡して特注するという形となるため、非常に高価で1台が家1軒分くらいの値段がするそうです。

終了後、当日参加できなかった運営委員の方から差し入れていただいた西瓜を、研究所の裏庭で割って食べ、ついでに青森ねぶたも楽しんで帰途につきました。



日本科学者会議

原子力問題全国シンポジウムに行ってきました

8月27日、岩手大学で行われた日本科学者会議原子力問題全国シンポジウム、第一日目の公開シンポジウムに、だまっちゃんおられんの会から弘前大学関係者を中心に9名が参加し、日本大学の野口邦和先生や、福島大学副学長の清水修二先生などのお話を聞きました。

野口先生の講演では、福島県の市民の中には今後30年間高い放射線が出続けるのだと考えている人がとても多いが、汚染濃度はいろいろな放射性物質の総量であり、例えば、福島第一原発は長く運転しているので、セシウム137と134が1:1ほどの割合であるが、セシウム137と134では半減期が異なり、全てが半減期が30年なのではない。実際には今後5年ほどでかなり減ると考えられると強調されました。避難といっても家族離散や失業が伴い、そちらのストレスの方が高いため避難しないという方を選ぶ場合も多く、そういう人たちの将来のためにもあきらめずに除染すべきと訴えておられました。



せっかく盛岡に行くのだからと、昼食は盛岡三大麺のひとつ「盛岡じゃじゃ麺」を、じゃじゃ麺発祥の店という「白龍」本店で食べました。じゃじゃ麺とは、温かいうどんに肉みそとショウガ、刻みきゅうりが乗っているというかなり変わった食べ物で、本場は中国です。麺を食べた後、卵を割り入れて「ちーたんたん」というスープにして飲むというのがじゃじゃ麺の本道と言われましたが、ゆで素うどんはボリューム満点で、Sサイズでも、ちーたんたんまで行き着くのは大変

でした。今後ちょっとした楽しみもある学習見学会を計画します。お楽しみに。

10月2日(日)

さよ～なら～ 原発・核燃 チャリンコGOGOキャラバン

今年も実施予定

原発・核燃にさよならを告げるアピールを、チャリンコキャラバンで今年も行います。皆さんふるってご参加ください。

終了後、バーベキュー、大坪杯争奪核燃ゲーム大会があります。

※ 詳細はチラシをご覧ください。



小出裕章講演会 弘前開催決定！

と き：11月12日(土) 13:00 開場 13:30 開演
ところ：弘前市岩木文化センターあそべる大ホール

京都大学原子炉研究所助教の小出裕章氏の来弘が決まりました。小出先生は、専門家として長い間原発の危険性を訴え、社会活動してきた科学者です。福島第一原発事故を受け、衆院予算委員会に参考人として呼ばれ、渾身の原子力政策批判を行いました。

だまっちゃおられんの会では、事故後すぐの4月に講演に来ていただけないかと打診しましたが、そのとき既に「直近で空いている日」が11月12日でした。内閣府も意見を求める原発専門家による貴重な講演です。皆様ぜひご聴講ください。詳細はチラシをご覧ください。

※ 小出講演を多くの市民の皆さんに聞いていただき、原発・核燃をストップさせる運動につなげていきましょう。講演会の周知に協力して下さる方を募集しています。ビッグイベントのため、活動している会員のメーリングリストも立ち上げました。(核燃 小出講演 activity report) ぜひ、ご登録いただき、活動交流しましょう。

事務局：竹浪 080-5229-6076 takenami@coral.ocn.ne.jp

【ご協力いただける活動内容】

チラシ配布・ポスター掲示のお願い・ご友人の紹介・当日の送迎・訪問活動・小出著「原発のウソ」書籍の販売・カンパ活動等

【ご協力いただける方はご連絡下さい】

活動できる日・時間をお知らせください → 事務局から一緒に活動できる方・集合場所等の連絡を致します

協力できる内容をお知らせください → チラシやポスター等をお届けします

ここほれわんわんPJ 関連情報

地学団体研究会全国総会で

「ここほれわんわんPJ」報告

地学団体研究会（地団研）の全国総会が8月19日～22日まで弘前大理工学部で行われました。

新潟大学名誉教授の立石雅昭さん、日本科学者会議八戸支部の松山力さんが会員で、六ヶ所断層の存在を立証しようと、当会とともに、2009年から「ここほれわんわんプロジェクト」を展開しています。市民と一体となった学術調査活動のあり方が評価され、このたび、地団研で宮永代表が「六ヶ所断層とここほれわんわんプロジェクト」の報告を行いました。

地団研全国総会は、地質学の学会で、地質関係の学者が大勢集まる中、「ここほれわんわん」というユーモラスな固有名詞が何度も出て来るので、聴衆の皆さんのげんそうな顔を見て（やっぱりもう少しまともなネーミングにすればよかったかな）という思いが脳裏をよぎりました。立石教授は自身の報告の中でも取り上げてくださり、補足説明がなされました。(m)



県原子力安全対策検証委員会と

新むつ小川原（株）に掘削依頼要請書提出

だまっちゃおられん津軽の会は、立石教授らと調査を重ね、ハンドオーガーの掘削予定地を決定、土地の所有者である新むつ小川原（株）に掘削許可を求める要請書を、県原子力安全対策検証委員会に断層調査を改めて行うよう求める要請書をそれぞれ提出しました。

新むつ小川原（株）は、口頭で掘削予定地点への立ち入り拒否を通告してきています。農地の片隅や原野に、直径10センチ、深さ5～6メートルの穴を掘り、その後は埋め戻すという調査活動を、敢えて拒否するという態度は納得できないという抗議も含む要請書となっています。

新むつ小川原（株）には、文書回答を求めています。(9月6日提出)

【だまっちゃおられんブックレットNo3, No4 残部わずか】

だまっちゃおられんブックレットは、発売後2ヶ月たわずにNo. 3, No. 4各300部が残部わずかとなりました。地団研全国総会書籍販売コーナーで78部売れたのを筆頭に、高齢者大会全国総会で48部、青森保健生協から100部の注文があった他、運営委員が5部ずつ、10部ずつと分け合って販売しています。注文はお早めに。

【ここほれわんわんプロジェクトってなあに？】

下北半島の斧の柄をなぞるように、大陸棚外縁断層が海底を走っています。六ヶ所周辺には出戸西方断層が存在しています。この2つの断層の存在は、日本原燃も県も認めています。

東洋大渡辺満久教授（変形地形学）のグループは、2009年、上記2つの断層を結ぶ「六ヶ所断層」が存在するという調査結果をまとめ、学会で発表しました。六ヶ所断層は、ウラン濃縮工場と再処理工場の敷地内を走り、直下型地震を引き起こす可能性もあるということです。地震の大きさは、断層の長さに比例して大きくなるため、大陸棚外縁断層につながっているとすると、マグニチュード8以上の地震になる可能性も否定できない、としています。

これに対し、日本原燃は断層はあるが活断層ではないとし、県は、断層はないと主張。渡辺教授の公開討論の申し入れを拒否しました。渡辺教授が、活断層がある根拠とした再処理工場から太平洋に向かう「とう曲」（ゆがんだ地形）を、日本原燃は、海岸段丘であると位置づけました。断層によってゆがんだかどうかは、歪みの上部と下部に同じ地層がみられるかどうかで判断することができます。同じ地層の連なりがあれば、ゆがんだと判断でき、違った地層であれば削られて一方が失われたと判断できます。

「ここほれわんわんプロジェクト」は、ハンドオーガーという手動の掘削機で5メートルほど地面を掘り下げ、地層の様子を調べてみようという学術プロジェクトです。もし、「とう曲」であることが証明できれば、断層の上に原発関連施設を建設してはいけないという法律に違反することとなり、施設の移転、または撤去を法的に要求できるのです。

青森県原発と核燃料の再処理をやめて

自然エネルギーへの転換を求める県知事宛の署名運動を始めました

福島第一原発の事故で、原発がひとたび事故を起こせば、取り返しのつかない事態になることが明らかになりました。下記の4項目を要求項目とし、下記の5団体を呼びかけ団体として、県知事宛の署名運動に取り組みます。来年2月に集約し、3月11日の提出を計画しています。

【要求項目】

- 1, 東通原発は、安全性が確保できないので再稼働しないでください
- 2, 大間や東通で建設中の原発、むつ中間貯蔵施設は中止してください
- 3, 六ヶ所再処理工場は、稼働させないでください
- 4, 自然エネルギーの開発に力を入れ、自然と調和した暮らしができる青森県にしてください

【呼びかけ団体】

核燃料サイクル施設立地反対連絡会議
下北の原発・核燃を考える会
核燃料サイクル施設立地反対上十三地区連絡会議
核燃いらない！横浜の会
核燃・だまっちゃおられん津軽の会

脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名

さよなら原発 1000万人署名にも取り組んでいます

- ※ 署名用紙・返信用封筒を同封します。返信の80円切手はカンパをお願いします。
- ※ 署名は、2012年3月11日までに10000筆をめざしています。

だまっちゃおられん今後の予定

- ※ 当会が主催するものと、加盟団体が主催する参加自由な講演会等をご紹介します。
- ☆ 9月29日(木) 13:30~15:30 新日本婦人の会弘前支部主催学習会で仁平将さんが講演
「原発事故と私たちの食生活の安全は？子育ては？」 場所：弘前市民参画センター
- ☆ 10月 2日(日) チャリンコGOGOキャラバン 参加費 BBQ食べる人のみ¥1000(学生¥500)
9:30 土手町蓬莱橋に集合！ 12:00 バーベキュー 13:00 大坪杯争奪核燃ゲーム大会
- ☆ 10月 9日(日) 中弘母親大会で鈴木裕史さんが講演 参加費 ¥300
「福島原発事故と核燃料サイクル」～福島原発事故とこれからの青森県を考える～
10:00~15:00 弘前市社会福祉センター
- ☆ 10月15日(土) 広瀬隆講演会 15:00~ 青森グランドホテル 青森県保険医協会主催
- ☆ 10月22日(土) 日本科学者会議東北地区シンポジウムで宮永代表が講演 参加費 ¥400
第一セッション 10:00~ 第二セッション 13:30~ 青森市民ホール
- ☆ 11月12日(土) 13:30~ 小出裕章講演会 場所：岩木文化センターあそべる

だまっちゃおられん活動報告

- 8/20~21 地団研シンポジウム(宮永代表報告)(資料)
21日(日)夜、立石先生、松山先生を招き懇親会予定(Pにて)
- 8/25(木) 日本共産党弘前市議団主催懇談会の案内(審議事項)
- 8/27(土) 県民医連中期研修③講師:仁平運営委員
- 8/27(土) JSA 第32回原子力発電問題全国シンポジウム(資料)
- 9/12(月) 第25回日本高齢者大会青森学講座講師:宮永代表 (司会:竹浪予定)
原発・核燃料サイクル施設をめぐる現状と課題
- 9/17(土) 県民医連中期研修④講師:安藤代表
- 9/23(金) 第2回平和を考える県民のつどい
- 10/ 2(日) チャリンコ・ゴーゴーキャラバン&大坪杯争奪核燃ゲーム大会(審議事項)
- 10/22(土) JSA 第22回東北地区シンポジウム(資料) 第3報告に宮永代表が登場!

【ブログ発行状況】

- 7/25 単位
- 7/26 北日本新エネルギー研究所見学会を実施します
- 8/ 8 街宣と北日本新エネルギー研究所見学会終了
- 8/ 9 ブックレットNO3, NO4ができました
- 8/19 小出裕章氏来弘講演 日時と場所が決定!
- 8/30 科学者会議原発シンポに行ってきました
- 9/ 5 チャリンコキャラバン準備進む
- 9/ 9 海洋汚染1. 5京ベクレル
- 9/12 取り消すか取り消さないか

だまっちゃおられん^{ホームページ}HPができました

<http://www.geocities.jp/damattya/index.html>

トップページに最近の活動を特集している他、マスコミに報道されている最新ニュースへのリンク、当会が過去に行ったアピールや申し入れ、公開質問等がすぐに探せる書庫も完備。皆様のアクセスをお待ちしています。



【HP作成顛末特大版事務局日記】

HPの作成は、だまっちゃおられんの会創立当初からの懸案事項で、若い世代に訴えを広め、運動の継承を図るにはなくてはならない媒体として、毎年活動方針に盛り込まれては、毎年総括にできなかったと書かれてきたものでした。

とにかく、手のまわるものからだけでも始めようと2008年6月から開始された「だまっちゃおられんブログ」も、青息吐息、生きていいのか死んでいるのか、1ヶ月に2~3回の更新履歴ではネットでは死んでも同然かと思われながらも細々と生きながらえてきました。それでも更新したら自動的にアクセスしてくれるありがたい固定読者が全国に17人もいます。

このたび、福島原発事故でアドレナリンが過剰分泌した事務局長がついに一念発起、何が何でも今HPを立ち上げると突貫工事に挑みました。ホームページビルダーという便利なツールがありますが、その指示通りにやってそれで進めるうちは花。それなら事務局次長でも全然できるわけですが、実はわかってる人には簡単でしょうが、わかってない人にはHPを作成しネットで公開するまでの手順は、細々と結構大変です。それにしても、だまっちゃおられんの会の活動履歴は豊かです。活動記録のページも申し入れのページも、いくら入力作業しても追いつきません。活動内容だけはごまかせない。改めて、会の活動の積み重ねを実感しています。(m)

発行：核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

連絡先：080-5229-6076 (竹浪) takenami@coral.ocn.ne.jp